

## 大会規定

### 1(競技上の規程)

- 1)学校教育の一環としての大会であることをふまえ、出場選手及び応援者は、スポーツマンシップにのっとりマナーを守ること。
- 2)競技は、現行の日本卓球ルールによって行う。
- 3)試合球は、国際公認球(40mmホワイト・プラスチック球)を用い、試合ごとに各コートに設置されたボールの中から選択する。
- 4)団体戦・個人戦ともに、決勝までトーナメント方式で行う。
- 5)試合は、5ゲーム11点マッチで行う。
- 6)団体戦は、4シングルス1ダブルスで行い、3点先取法とする。シングルスに出場した者は、ダブルスに出場できない。
- 7)団体戦のベンチ入りは、登録した同一校の選手8名と監督(出場校の校長または教員)、及びコーチ2名以内に限る。  
\*コーチは、学校長が認めた者とし、神戸市中体連が発行した外部コーチ登録証をつけること。
- 8)団体戦では、選手は必ずゼッケンをつけてベンチに入ること。

### 2(用具について)

- 1)ラバーは J.T.T.A.A.もしくは I.T.T.F.の公認マークが表示されている物を使用すること。
- 2)ラケットは J.T.T.A.A.の公認マークが表示されている物を使用すること。公認マークが表示されていないラケットを使用する際は、審判長の許可をうけること。
- 3)ラバーのはみ出しは、ラケットのふちから2mm 以内とする。
- 4)ラバーの損傷について、
  - ①打球する部分に損傷があるラバーの使用は認められない。
  - ②表ラバー(粒高を含む)に関しては、指のあたる部分が損傷している場合は、使用を認める場合がある。
  - ③ラバーのふちが欠損している場合、ふちからおおむね1cm 以内とする。
- 5)ユニフォーム(シャツ、パンツ)は J.T.T.A.A.のシールが付いているものを使用すること。
- 6)ユニフォームに、メーカーのロゴやマーク、学校名や校章以外のロゴやマークが表示されているものは使用を認めない。
- 7)団体戦のユニフォームは全員が統一されていることが望ましいが、学年ごとに統一されている場合に限り、三種類まで異なるユニフォームを着用してのベンチ入りを認める。

### 3(進行について)

- 1)団体戦のオーダー用紙は、対戦をコールされ次第、すみやかに提出すること。第一試合で対戦相手が決まっている場合、開始式までに提出すること。
- 2)進行の状況に注意をして、コールされた時には、団体戦はすぐに指定されたコートに整列し、個人戦は待機場所に整列すること。3回以上コールしても整列しない場合は、棄権と見なすことがある。
- 3)団体戦の各チームの第一試合は、チームの勝敗が決まっても、残っている試合の第一ゲームまでは行う。

### 4(その他)

- 1)団体戦では、ベンチ入りの監督、コーチ以外は座って応援すること。また、大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 2)ゲーム間のアドバイスは1分以内を守ること。
- 3)抗議権は、個人戦は選手に、団体戦は監督のみにある。抗議は、ルールの解釈に関することのみ認められる。
- 4)観客席からのアドバイスは一切認められない。悪質な応援、アドバイスが認められた場合は、アドバイスを受けた選手には本部から注意し、悪質な応援やアドバイスを行った人物には会場からの退場を求める場合がある。